



江東区議会公明党

このきよふみ通信

2022年第35号

＜発行責任者＞江東区議会公明党



令和4年第1回定例会が閉会しました。今回は9度目の補正予算や新年度予算の審議が行われました。令和3年度はコロナ対策を推進してきました。新年度においても一層の取り組みが必要です。今回は新年度予算での質疑応答や区議会公明党の活動、地域のお声の前進についてご報告させていただきます。

高校生医療費無償化を要望！



2021年・都議選で都議会公明党がチャレンジ8として公約した**高校3年生までの医療費無償化**が、2023年度の開始に向けて、新年度システム改修を都が全額補助し、その後東京都と区市町村の協議が整ったところから2023年度にスタートすることになります。東京都は区市町村負担分を3年間全額補助することが決まりました。

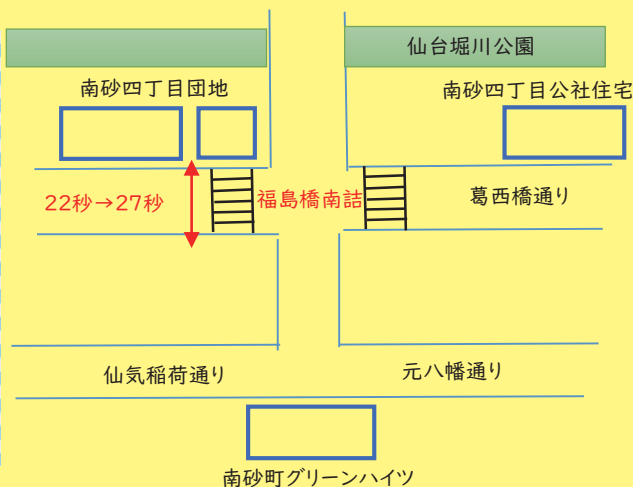
江東区議会公明党は、所得制限なく、すべての高校生の医療費が無償化になるように、江東区長へ要望しました。

新型コロナ
ワクチン接種
関連情報



3回目接種など

福島橋南詰交差点 青信号時間延長



葛西橋通りは車線が複数あり、**福島橋南詰交差点**を渡る高齢者も多く、安心して横断歩道を渡れるようにしてほしいとのお声をいただきました。

すぐに周辺の信号機の状態を確認をして、細田いさむ都議と連携をし、今回青信号の時間を**22秒から27秒に5秒延長**することができました。

区民相談は『このきよふみ』まで
お気軽にご連絡ください！
連絡先：080-9804-7350



このきよふみ
QRコード



令和4年度予算審査特別委員会での質疑応答

◆選挙

コロナ禍で分散投票が推進され、期日前投票の増加や施設での不在者投票、また公正な選挙の推進と若者の投票率向上を訴えました。

①期日前投票所である南砂区民館はポスター掲示場がなく、設置の要望も多い。設置も含めて投票環境の充実を
A:改めて現地調査して設置の改善の可否を検討する



②2021年の都議選では、居住者等の許可なく、建物や自販機などにポスターを貼る候補者もいた。区選管として再発防止をしていくべき
A:無断掲示は言語道断であり、いろいろな機会と呼びかける

③コロナ禍でも今後施設内で不在者投票ができるように指定施設となるように区選管としても支援をしていくべき
A:指定施設の説明を丁寧にする

④若者の投票率向上のためにもインターネットでの啓発や広告などの検討と若者の視点を取り込んだ政治意識向上を進めていくべき
A:広告等は費用対効果など検討。SNSの活用と大学生の意見を反映した啓発を推進する



◆水害における防災対策

2019年10月の台風19号を受け水害対策が見直されてきた。今後の区の水害対策を質問しました。

⑤都営住宅の上層階空室の避難場所の都との協定締結を急ぐべき
A:引き続き協議を進める

⑥災害時の教室利用の協議や私も要望してきた避難所開設訓練を実施していくべき
A:三砂小での訓練成果を活かして今後の訓練実施に向けて検討する

⑦今回災害廃棄物処理計画策定を受け、今後、徳島県の「災害時快適トイレ計画」のように具体的に計画をつくるべき
A:自助の取組の重要性など計画の趣旨を参考に計画的な災害時のトイレ確保の手法を検証する

◆消費者被害防止

都営住宅等では高齢者も多く、また一人暮らしも増えている。今後悪質な訪問販売で被害が出ないように質問をしました。



⑧今後、江東区でも悪質な訪問販売お断りのシールなどを作成と被害等にあった場合でもすぐに連絡ができるようにしていくべき
A:防犯シールの作成を検討し、イベント等の機会も利用して配布する

⑨動画や音楽配信などの定額制利用の「サブスクリプション」などで解約しづらく、高齢者からの相談も多い。しっかりと啓発していくべき
A:引き続き積極的に啓発する

⑩2022年4月から成人年齢が18歳になる。今後新成人や若者に対する消費者被害防止の広報と消費者ホットライン「188」など相談体制の充実が必要では
A:効果的な啓発とニーズを踏まえた相談の充実を検討する

⑪成人となっても消費者被害に遭わないために高校生とともに小中学生への消費者教育の充実が必要であるが対策は
A:現在も日銀などと連携して行っているが、コロナ禍でもできる仕組みを検討する

◆子宮頸がんへの施策

2022年4月から子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨が再開されるにあたり、施策の推進を訴えました。

⑫子宮頸がん予防ワクチン接種は、新年度も今年度同様丁寧な情報提供をするべき
A:転入者など未送付の方に実施する



⑬今後積極的勧奨を中止した期間中に接種できなかった人へのフォローが大事である。新年度早期にキャッチアップ接種を実施していくべき
A:システム改修後、できるだけ早く個別通知する予定である

⑭キャッチアップ接種の対象者は16歳以上でもあり、予防ワクチン接種とともに子宮頸がん検診も合わせて周知していくことが重要である。情報提供の中で検診の必要性を訴え、動機につながるようにすべき

A:目に留まり受診しようと思うような効果的な工夫をする

◆精神障がい者への支援

⑮精神保健福祉手帳や自立支援医療受給者証では更新が必要でその都度、診断書を作成するため自己負担がかかる。安心して暮すためにも更新時の診断書作成費補助等の負担軽減を

A:補助については今後研究していく



◆通学路の安全点検

昨年千葉県の子供を巻き込んだ死傷事故を受け、通学路の安全対策を区教委に質問しました。

⑯児童通学案内業務従事者（ストップさん）の適正配置と増員要請への対応は
A:学校周辺環境に即して配置。今後も弾力的に対応する

⑰通学路の安全対策では、危険箇所などを児童・保護者、地域住民、関係機関の認識を高め、広く協力を得るため、五砂小では、写真や地図、こどもの意見を取り入れたガイドを作成して周知している。このような取組みは交通安全で重要と考えるが
A:五砂小の取組は有用であり、好事例は他の小学校にも紹介し波及させていく

⑱交通安全の点検では、子どもの視点も取り入れるべき
A:子どもたちが取組む活動の反映を検討する

◆学校図書館

⑲文科省が令和4年度からの学校図書館の新たな5か年計画を公表した。いままで新聞配備を求めてきたが、今後の充実は
A:新聞配備は授業等での活用が確かかつ効果的に図られるように検討する